

14年秋年末闘争中央行動 港湾労働の諸課題を省庁、政党等へ要請



意思統一集会

全国港湾と港運同盟は、十一月十二日（水）から十三日（木）にかけて「二四秋年末闘争中央行動」を取り組んだ。十二日には午後より、国土交通省、厚生労働省、財務省、経済産業省、消防庁、防衛省との行政交渉を行い、十三日は午前より、船主港湾協議会、外国船舶協会、日本貿易会、公明党、民主党、日本共産党、社民党との船主・ユーザー・政党申し入れ行動に取り組んだ。

この行動には、中央執行委員、各地区港湾代表一名の七十名あまりが参加し、港湾政策や港湾運送における諸課題を訴えた。

行動の第一日目、十二日 業省は六名が十三時三十分から行政交渉に先立ち、消防庁は六名が十四時、防衛省は五名が十四時三十分、主権者を代表し、全国港湾系各委員長の中央行動に際しての、たまたか決意表明を受けた後、港運同盟日吉会長代行の音頭で「団結カンパロ」を三唱し、交渉団は各省庁へ向かった。

申し入れには、中央執行委員、各地区港湾代表を各省庁に振り分け、国土交通省、厚生労働省は四十三名が十三時三十分と十五時、財務省は五名が十五時、経済産



厚生労働省



国土交通省



財務省

業省は六名が十三時三十分、消防庁は六名が十四時、防衛省は五名が十四時三十分、主権者を代表し、全国港湾系各委員長の中央行動に際しての、たまたか決意表明を受けた後、港運同盟日吉会長代行の音頭で「団結カンパロ」を三唱し、交渉団は各省庁へ向かった。

申し入れには、中央執行委員、各地区港湾代表を各省庁に振り分け、国土交通省、厚生労働省は四十三名が十三時三十分と十五時、財務省は五名が十五時、経済産



経済産業省

業省は六名が十三時三十分、消防庁は六名が十四時、防衛省は五名が十四時三十分、主権者を代表し、全国港湾系各委員長の中央行動に際しての、たまたか決意表明を受けた後、港運同盟日吉会長代行の音頭で「団結カンパロ」を三唱し、交渉団は各省庁へ向かった。

申し入れには、中央執行委員、各地区港湾代表を各省庁に振り分け、国土交通省、厚生労働省は四十三名が十三時三十分と十五時、財務省は五名が十五時、経済産



防衛省

業省は六名が十三時三十分、消防庁は六名が十四時、防衛省は五名が十四時三十分、主権者を代表し、全国港湾系各委員長の中央行動に際しての、たまたか決意表明を受けた後、港運同盟日吉会長代行の音頭で「団結カンパロ」を三唱し、交渉団は各省庁へ向かった。

申し入れには、中央執行委員、各地区港湾代表を各省庁に振り分け、国土交通省、厚生労働省は四十三名が十三時三十分と十五時、財務省は五名が十五時、経済産



消防庁

業省は六名が十三時三十分、消防庁は六名が十四時、防衛省は五名が十四時三十分、主権者を代表し、全国港湾系各委員長の中央行動に際しての、たまたか決意表明を受けた後、港運同盟日吉会長代行の音頭で「団結カンパロ」を三唱し、交渉団は各省庁へ向かった。

申し入れには、中央執行委員、各地区港湾代表を各省庁に振り分け、国土交通省、厚生労働省は四十三名が十三時三十分と十五時、財務省は五名が十五時、経済産

関する申し入れとして①危険物貨物、貨物情報の事前周知の徹底について②輸出入に関わらず、フレコンバックの輸送機材について③港頭地区の野積場のスクラップ（屑鉄など）の発火について、防衛省には港灣利用に関する申し入れとして①自衛艦や自衛隊の借り受ける船舶の出入航並びに荷役作業について②その出入航については、港灣労働者の事前協議のルールに基づき対応すること③港灣利用にあつた場合は、現行の港灣のルール（産別協定など）を尊重すること④港灣は、港運事業者の業域であり、港灣労働者の職域であり、貨物の荷下にあつては港灣事業者を起用するよう措置すること。経済産業省には「港灣労働の安全にかかわる申し入れ」として①危険物貨物、貨物情報の事前周知の徹底について②運送の際に損傷する可能性のあるフレキシブルバック、その他の輸送用機材の使用を絶対認めないよう措置することなど、回答を促した。

申し入れでは、各省庁概ね真摯な対応であったが、特別行動班が蒲田本部に集合、船主港湾協議会、外国船舶協会、日本貿易会、公明党、民主党、日本共産党、社民党に向かった。

要請では、港灣労働の現状の理解を深められた、二日間の取り組みとなつた。



公明党



民主党



日本共産党



社会民主党



外国船舶協会



日本貿易会

に報告集会を開催して第一日目を終えた。

第二日目の十三日は、船主・ユーザー・政党要請行動とし、九時二十分から要請行動班が蒲田本部に集合、船主港湾協議会、外国船舶協会、日本貿易会、公明党、民主党、日本共産党、社民党に向かった。

要請では、港灣労働の現状の理解を深められた、二日間の取り組みとなつた。

既に政府は道徳の教材に偉人伝を導入する考えを示しているが、「立派な人がいた日本は凄いい国だ」という事をやりたいだけである▼人物の評は、見る人の立場で変わる。一方的な評価で「偉人」と教え込むものはおかしい。そもそも自民党は子供たちの道徳心を心配する前に、党内の政治家の道徳心を考えるべきだ。

小中学校の道徳の時間を教科にするよう中教審が文部科学省に答申した▼二〇一八年度にも実施される見通しだ▼中教審は理由として「いじめ問題への対応として」いるが、教科化されれば成績が付けられる。子供達の心を評価するなんて不可能であり、逆に子供達の姿が先生に見えなくなるだけだ。いじめがバレたら成績が下がるとなれば、もっと巧妙にいじめめるようになる。また、作文やノート、発言等を総合的に判断するみたいだが、先生の前で本音を言う子供はいなくなる▼安倍政権の道徳教科化への真の狙いは、「愛国心」の押し付けである。教科化は国の関与を強める。懸念される一つが検定教科書の使用だ。国は検定基準を改め「愛国心」を養うなどとした改正教育基本法の目標に照らした審査を強めている。国の意向を強く反映した教科書によって、特定の価値観が押し付けられることはないか。

既に政府は道徳の教材に偉人伝を導入する考えを示しているが、「立派な人がいた日本は凄いい国だ」という事をやりたいだけである▼人物の評は、見る人の立場で変わる。一方的な評価で「偉人」と教え込むものはおかしい。そもそも自民党は子供たちの道徳心を心配する前に、党内の政治家の道徳心を考えるべきだ。



小中学校の道徳の時間を教科にするよう中教審が文部科学省に答申した▼二〇一八年度にも実施される見通しだ▼中教審は理由として「いじめ問題への対応として」いるが、教科化されれば成績が付けられる。子供達の心を評価するなんて不可能であり、逆に子供達の姿が先生に見えなくなるだけだ。いじめがバレたら成績が下がるとなれば、もっと巧妙にいじめめるようになる。また、作文やノート、発言等を総合的に判断するみたいだが、先生の前で本音を言う子供はいなくなる▼安倍政権の道徳教科化への真の狙いは、「愛国心」の押し付けである。教科化は国の関与を強める。懸念される一つが検定教科書の使用だ。国は検定基準を改め「愛国心」を養うなどとした改正教育基本法の目標に照らした審査を強めている。国の意向を強く反映した教科書によって、特定の価値観が押し付けられることはないか。